三郷小学校の通学路では、リニア中央新幹線の工事に伴い、大型トラックの往来が増えていることを受け、児童らが交通事故に巻き込まれないようにするため恵那警察署は６月２６日、工事請負業者である「中央新幹線長島トンネル新設工事共同企業体（大林組、鴻池組、大本組）」と共に実際に工事現場で使用している大型トラックを利用し、児童目線による参加体験型の交通安全教室を実施しました。

教室では、小学校のグラウンドにおいて、実際に工事で使用している大型トラックを走行させロードコーンが巻き込まれる様子を見せたところ、児童からは驚きの声が上がりました。

その後、トラック運転席に児童を乗車させて運転者からの死角体験や交通安全クイズを実施したほか、パトカー、白バイの乗車体験も行いました。

児童からは「トラックから見えないところがたくさんあった。今日学んだことをしっかりと守って、安全に通学したい」」などの声が聞こえました。